



# GOAT BULLETIN

## 令和6年(2024年)の新学期が始まりました

### 目次:

畜産資源学分野メンバーのご紹介	2-3
卒論・修論発表会と卒業式	3
廣岡先生の最終講義とお食事会	4
廣岡先生退官記念講演&お食事会&2次会記念写真館	5
SONI村へ行ってきました	6
お知らせ、今月のカレンダー	7

今年もあっという間に4月ですね。3月に廣岡教授が退官された畜産資源学分野ですが、今年度から熊谷 元准教授が新たな研究室のボスになりました。また、大石風人先生と塚原洋子先生が共に准教授に昇任され、准教授が3人(!)になりました。また、昨年に引き続き教務補佐を瀬戸口暁君、事務補佐員を高桑 亜友美さんが務められ、スタッフ5人の充実した体制が出来上がりました。

さて、畜産資源学分野の在籍学生は、博士課程3年に社会人学生で静岡県職員の寺田圭さん、修士課程2年の江川慧君、修士課程1年の入船真一くん、菊池慈くん、澤田玲さん、山田隼大くん、蔡定霖くん(留学生)がそれぞれ進級し、学部4年生には岩井宏平くん、菊地元登くん、田中壮太郎くんの3人が分属となりました。本号2-3ページには、在校生の皆さんの自己紹介欄がありますので、お楽しみに♪

畜舎のヤギ・ヒツジたちもみんな元気です。今年6月に新規個体を導入予定なので、そのころにまたご紹介できるかと思います。

今年度は、M2が江川くんひとりで、就活しながら研究室の兄貴分を務めるということで、何かと負担がかかりそうですが、ゼミの日程調整など着々とこなしてくれています。今年度も、畜産資源学演習(ゼミ)は、毎週火曜日の4&5限に開講されます。新年度最初のゼミは、4月9日(火)オリエンテーションから始まります。また、今年度から研究報告の回数が増えるなど若干の見直しがされています。4回生のうち二人が体育会に所属していますが、できるだけみんなが研究室で共に過ごす時間が長くなるような研究室づくりを目指していきましょう。今年度も畜産資源をよろしく願いいたします。

さて、退官された廣岡先生ですが、今年度からは昆虫生態学分野の所属となり、桂キャンパスのローム記念館に研究室を設けられているそうです。



今年度から畜産資源学分野の准教授に昇任された大石先生、塚原先生、昨年10月着任の小川助教(動物遺伝育種学分野)



今年も湯川先生の桜がきれいに咲き誇りました♪

## 畜産資源学分野メンバーのご紹介①

①名前②学年③あだ名④誕生日⑤出身地⑥出身高校（大学）⑦特技⑧好きなものと嫌いなもの⑨研究テーマ⑩ひとこと

①寺田 圭 ②D3（社会人枠）

③てらけー（友達の赤ちゃんが最初に覚えた言葉だそうです）



④12月5日

⑤静岡県浜松市

⑥北海道大学

⑦ボードゲームとスノーボード

⑧好きなもの：在宅勤務、嫌いなもの：締め切り

⑨金華豚とデュロック種の交雑種の遺伝解析・枝肉調査等

⑩気が付けばD3となり最後の年度(多分)になりました。なかなか研究室には行けませんがよろしくお願ひします。

①江川 慧

②修士2年（M2）

③あくた川には「えがちゃん」と書いてある

④1999年11月13日

⑤兵庫県姫路市播州姫路24の代祀

⑥県立姫路西高校

⑦般若心経言えます

⑧好き：関有美子、嫌い：同担

⑨シロアリ蟻土を敷料として用いたプロイラー飼養

⑩アイドルと自転車が好きな漢です。同期がいなくて寂しいので仲良くして下さい。



①入船 真一

②M1

③イリ

④2001/9/9

⑤大阪

⑥北野高校

⑦100マス計算

⑧好きなもの：寿司と休み

嫌いなもの：満員電車

⑨飼料添加物としてのバイオ炭の利用

⑩気軽に話しかけてください！



①菊池 慈

②M1

③しげちゃん・しげ

④2001年9月12日

⑤佐賀県

⑥鳥栖高校（どぶろっくの2人が先輩）

⑦ありません！

⑧好きなもの：ゲーム・スポーツ観戦、特にバスケットボール  
嫌いなもの：ありません！ 😊

⑨新規の天然由来物質の飼料添加物としての利用

⑩今年和食を美味しく作れるようになりたいです

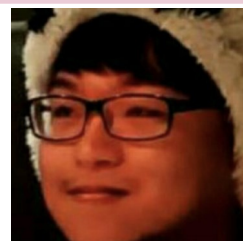


①蔡 定霖 ②M1 ③サイ ④1996/10/02 ⑤台湾 ⑥台湾大学

⑦ユーフォニアム（吹奏楽部） ⑧好きなもの：牛、嫌いなもの：虫

⑨反芻動物飼料におけるエコフィードの再利用

⑩台湾に遊びに来てね！



## 畜産資源学分野メンバーのご紹介②

①名前②学年③あだ名④誕生日⑤出身地⑥出身高校⑦特技⑧好きなものと嫌いなもの⑨研究テーマ⑩ひとこと

①澤田 玲

②B4（4月からM1）

③玲ちゃん、澤田

④12月20日

⑤愛知

⑥愛知県立時習館高校

⑦水泳、早着替え

⑧好きなもの：家、綺麗な景色、雪

嫌いなもの：人混み、単純作業

⑨ヤギのストレス、行動について

⑩よろしくお願いします!!!



①山田 隼大

②M1

③ハヤタ

④2000年9月9日

⑤愛知県

⑥一宮高校

⑦長距離歩くこと

⑧好き：ちくわの天ぷら

嫌い：雨

⑨プロイラーの添加飼料としてのオオシロアリ粉末の利用がモモ肉の一般成分と脂肪酸組成に及ぼす影響

⑩早寝早起き朝ごはん



## 卒論・修論発表会と卒業式



皆さん、おめでとうございます！

これからのますますのご活躍を祈念しています！



## 廣岡先生の最終講義とお食事会

畜産資源学分野の教授を23年間にわたって務められた廣岡先生の最終講義が、去る3月2日に農学部総合関W-314にて行われました。農学研究科の様々な分野の先生方、学生さん、廣岡先生が分野に着任後の主に修士修了生で、140人が定員の教室がほぼ埋まるほどの盛況でした。

廣岡先生の最終講義は、「システム畜産学の応用と和牛研究-教育と研究に捧げだ40年を振り返って-」というタイトルで、自己紹介に始まり、①「システムアプローチとは」一般システム理論からシステム農学、システム畜産学への変遷、実験的アプローチとシステム



アプローチの相互補完関係、システムアプローチの方法、②「これまでの研究総論」熱帯地域における作物生産モデルと家畜生産モデルを統合した生産システム分析、バイオエコノミックモデルの開発、システムアプローチによる学際研究、モデルの開発と評価、シミュレーションと理論研究、③「京都大学学生時代」では熱帯農学専攻畜産資源学講座の経緯、山田行雄先生との出会いと修士・博士課程で実施した研究（学位論文のテーマ“A systems analysis of beef cattle growth and production”）、④「龍谷大学経済学部時代」家畜育種学と経済学の融合応用研究と人気ゼミの秘訣、オランダワーゲニンゲン大学への留学と研究成果、⑤「京都大学教員時代」日本と世界の家畜生産システムの探求、分野内で多様な学際研究、家畜たい肥の利用、窒素フロー、和牛の枝肉形質の遺伝相関、脂肪交雑とビタミンA、染色体別ゲノム育種価のパス係数、家畜種を超えた一般理論の構築、アニマルウェルフェア問題、雲南プロジェクト、農村調査、シマウシ、ウシの繁殖生徒腸内微生物の関連性、シロアリの畜産飼料利用など、廣岡先生の研究人生が凝縮された内容でした。当初、1コマ90分だからとおっしゃっていましたが、お話はなかなか尽きず、30分延長して、最後は奥様つの名間睦ましいお写真を紹介されました。いつもながら、飽きることのない

楽しい講義でした。

その後は、畜産資源の修了生、在校生、スタッフで四条の東華菜館へ。ここでは、8卓ある丸テーブルを廣岡先生が10分ずつ（予鈴によってコントロール）回って、懐かしい修了生や在校生とのひと時のおしゃべりを楽しみました。修了生たちは、年代順にテーブルに座って、旧友との再会を喜び合いました。お食事会の中盤には、廣岡先生への記念品贈呈があり、花束とGoat Bulletin装丁版（熊谷先生発案）と廣岡先生が教授になられてからこれまでに在校生が筆頭著者となった論文集（全部で11冊あり、廣岡先生にとって一番嬉しい贈り物となりました）、「廣岡先生が大好きな霜降り和牛肉」プリントのタオルが贈られました。2時間の予定のお食事会は楽しすぎてなかなか閉められず、2次会会場からの督促電話をもって何とかお開きとなりました。



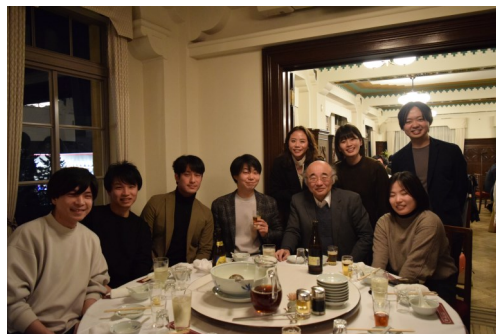
東華菜館名物「糖醋鯉魚-鯉の丸揚げ甘酢葛かけ」

（ようこ）

# 廣岡先生退官記念講演&お食事会&2次会記念写真館



記念品にGoat Bulletin装丁版を受け取って、満面の笑みの廣岡先生



## SONI村へ行ってきました

3月中旬のある日、京都から車で2.5時間ほどかかる奈良県宇陀郡の限界集落、スキの曾爾高原で有名な曾爾村へ出かけてきました。あいにくの雨でしたが、大自然の広がる山里と古民家を訪問し、野生のシカたちにも遭遇しました。



曾爾村を訪問したのは、廣岡先生の退官記念お食事会で、熊谷先生が畜産資源の卒業生である奈良県出身の菊原一仁さんに再開し、菊原さんが、数年前に地域おこし協力隊として曾爾村で一般社団法人SONI SUMMITを設立し、地方創成を目指しているというこをお聞きになったことがきっかけでした。ぜひ地域創成の取り組みを実際に見せていただくということで、往復5時間かけて行ってきました。



菊原さんのオフィスがある曾爾村地域総合センターは、旧小学校の校舎の建物を利用したもので、天井が高く、木のぬくもりが暖かいともおしゃれなオフィスでした。センターの一部は、子供たちの学童保育施設としても使われているようでした。



ここでの菊原さんたちの取り組みは、曾爾村への移住を促進するための地域や暮らしについて、特に移住してからかかる費用や教育の紹介、仕事案内(求人情報をまとめたり、起業のアドバイスや支援制度の紹介をしたり、リモートワークについての情報提供)、住まい(住宅)の整備や紹介(賃貸情報、空き家の購入情報と共に、村内で住宅を保有している人には、「空き家バンク」や「スマートリノベーション」といった支援制度を紹介)しているそうです。



菊原さんの話では、「田舎にはたくさんいいところもあるけれど不便な面も多くある。各地で地域創成事業が行われているが、田舎のいい面だけを見せて、実際に移住してみると想像より厳しくて定着が進まない事例が多くみられる。自分たちは移住希望者にいい面も悪い面も見せて、まずはお試しでしばらく住んでもらってから、田舎暮らしが合う人には移住を進めるようにしている。実際に僕たちのチームにも、住むには田舎過ぎると言って、別の町に住んで通勤している仲間もいる。無理しないことが大切。」とのことでした。これまで20家族程度の移住をお手伝いしたとのことで、菊原さんの取り組みが着実に地域創成につながっているようです。

「ただ、唯一足りないなあと思うのが、飲み屋がないんだよね。居酒屋を誰か開いてくれないかな。いい温泉もあるので、

次回は泊りがけで、ぜひ遊びに来てください。」とのことでした。

冬はかなり寒くなりますが、夏から秋にかけては避暑にちょうどいいそうです。次回はお天気のいい日に、温泉セットと居酒屋セットを持って、遊びに行きますか。

(よ)



Faculty of Agriculture,  
Kyoto University,  
Kitashirakawa-Oiwakecho,  
Sakyo-ku, Kyoto 606-8502, Japan  
TEL: 075(753)6365  
FAX: 075(753)6365  
<http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/>

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で成り立っています。形式・文字数は問いません。また、読者の方々からのご意見やお問い合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし送信してください。  
[tsukahara.yoko.8v@kyoto-u.ac.jp](mailto:tsukahara.yoko.8v@kyoto-u.ac.jp)

お知らせ

3月の廣岡先生の最終講義に集まった先輩方からたくさんのお土産を頂戴しました。また、卒業旅行などでお土産を買ってきてくれた人も多く、今月の研究室にはたくさんのお菓子が集まりました。その一部をご紹介します。



(左写真)東京バナナ、シュガーサンドバターの木、加賀野菜を使った洋菓子(ケーキハウスエンゼル)、銀座ウエストのリーフパイ、コロパンの東京駅丸の内駅舎フルセック、茨城産紅あずま使用すいとぼとと、テラ・コンフェクトのキャラメルウィッチとチーズウィッチ、東京チョコレートファクトリーのメルティンショコラサンド、ラ・テールのはちみつバターカステララスク、京都鞍馬口たまだけんの栗どら&まもるパイ(右上写真)山形ラフランスケーキ(右下写真)台湾より海邊走走のエッグロール。皆さん、ありがとうございました。美味しくいただきました。

April 2024

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5 入学式・歓迎会	6
7	8 前期授業開始	9 ゼミ開始	10 専攻新入生歓迎会	11 ヤギ去勢	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				